

平成17年基準 消費者物価指数

全国 平成22年10月分

1 概況

- ~~~~~
- (1) 総合指数は平成17年を100として100.2となり、前月比は0.4%の上昇。前年同月比は0.2%の上昇となった（高校授業料無償化の影響については19ページ参照）。
 - (2) 生鮮食品を除く総合指数は99.5となり、前月比は0.4%の上昇。前年同月比は0.6%の下落となった。
 - (3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.8となり、前月比は0.7%の上昇。前年同月比は0.8%の下落となった。
- ~~~~~

図1 指数の動き

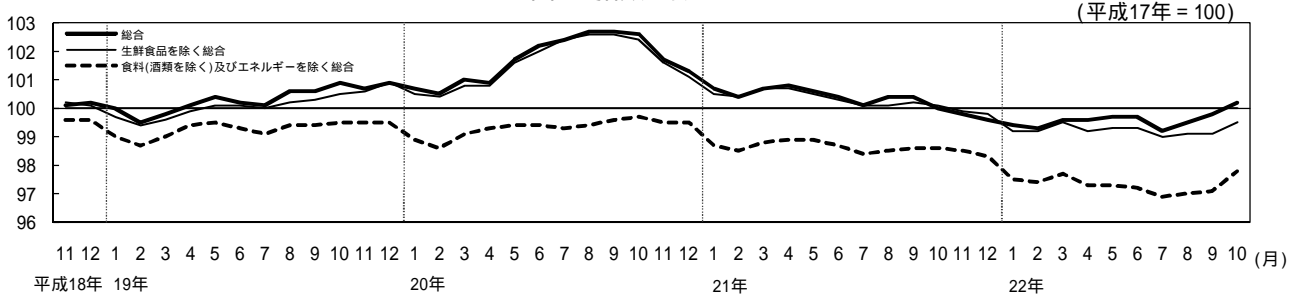


図2 前年同月比の動き

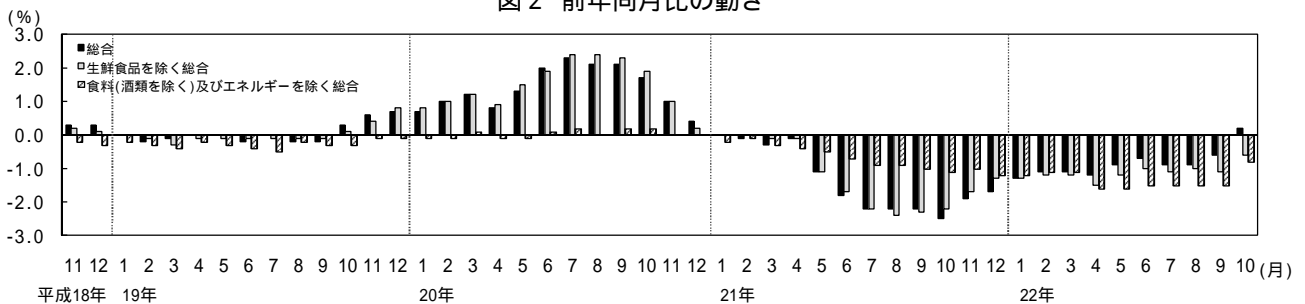


表1 総合、生鮮食品を除く総合、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合の指数、前月比及び前年同月比 (平成17年 = 100)

		平成21年			22年									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
総合	指数	100.0	99.8	99.6	99.4	99.3	99.6	99.6	99.7	99.7	99.2	99.5	99.8	100.2
	前月比 (%)	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.0	0.1	0.0	0.5	0.3	0.3	0.4
	前年同月比 (%)	2.5	1.9	1.7	1.3	1.1	1.1	1.2	0.9	0.7	0.9	0.9	0.6	0.2
生鮮食品を除く総合	指数	100.1	99.9	99.8	99.2	99.2	99.5	99.2	99.3	99.3	99.0	99.1	99.1	99.5
	前月比 (%)	0.1	0.2	0.1	0.6	0.0	0.3	0.3	0.1	0.0	0.3	0.1	0.0	0.4
	前年同月比 (%)	2.2	1.7	1.3	1.3	1.2	1.2	1.5	1.2	1.0	1.1	1.0	1.1	0.6
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	指数	98.6	98.5	98.3	97.5	97.4	97.7	97.3	97.3	97.2	96.9	97.0	97.1	97.8
	前月比 (%)	0.0	0.1	0.2	0.8	0.1	0.3	0.4	0.0	0.1	0.3	0.1	0.1	0.7
	前年同月比 (%)	1.1	1.0	1.2	1.2	1.1	1.1	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	0.8

注) はマイナスを表す (以下同じ)。

2 全国

2 前月からの動き

表2 10大費目指数，前月比及び寄与度

(平成17年 = 100)

指数	総合			食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く*	生鮮食品を除く食料	生食	鮮品	生鮮食品を除く食料									
指数	100.2	99.5	97.8	104.5	116.5	102.2	99.2	106.7	88.9	102.9	99.0	98.1	89.7	93.0	108.3
前月比(%)	0.4	0.4	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.7	0.3	0.1	0.1	0.1	6.9
寄与度	0.4	0.38	0.48	0.03	0.00	0.02	0.02	0.01	0.00	0.03	0.01	0.01	0.00	0.01	0.41

* 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合(以下同じ)

注) 各寄与度は，総合指数の前月比に対するものである。

総合指数の前月比が0.4%の上昇となった内訳を寄与度で見ると，諸雑費などの上昇が要因となっている。

[主な内訳]

10大費目 中分類，前月比(寄与度)
 諸雑費 たばこ 38.6%(0.27)

3 前年同月との比較

表3 10大費目の前年同月比及び寄与度

前年同月比(%)	総合			食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く*	生鮮食品を除く食料	生食	鮮品	生鮮食品を除く食料									
前年同月比(%)	(0.6)	(1.1)	(1.5)	(0.6)	(10.3)	(1.4)	(0.5)	(3.3)	(4.2)	(0.9)	(0.5)	(0.0)	(12.9)	(1.3)	(0.3)
寄与度	0.2	0.6	0.8	1.6	17.4	1.3	0.5	3.5	4.1	1.1	0.0	0.0	13.0	0.9	6.6
寄与度差	(0.6)	(1.05)	(1.02)	(0.15)	(0.45)	(0.32)	(0.10)	(0.23)	(0.13)	(0.04)	(0.02)	(0.00)	(0.48)	(0.13)	(0.02)
寄与度差	0.2	0.58	0.54	0.41	0.71	0.28	0.10	0.24	0.13	0.05	0.00	0.00	0.49	0.09	0.39
寄与度差	0.8	0.48	0.47	0.26	0.27	0.04	0.00	0.01	0.00	0.01	0.02	0.00	0.01	0.04	0.41

注) ()は，前月の前年同月比及び寄与度。各寄与度は，総合指数の前年同月比に対するものである。

総合指数の前年同月比が0.2%の上昇となった内訳を寄与度で見ると，食料，諸雑費，光熱・水道の上昇が要因となっている。

なお，教育，家具・家事用品，住居などは下落した。

[主な内訳]

10大費目 中分類，前年同月比(寄与度) 品目，前年同月比(寄与度)

上昇

食料 生鮮野菜 29.4%(0.48) …… トマト 67.8%(0.08) など

諸雑費 たばこ 38.6%(0.27)

光熱・水道 電気代 3.0%(0.09)

下落

教育 授業料等 -17.4%(-0.49) …… 公立高校授業料 -98.5%(-0.39)
 …… 私立高校授業料 -25.1%(-0.10) など

家具・家事用品 家庭用耐久財 -9.9%(-0.09) …… ルームエアコン -14.4%(-0.02) など

住居 家賃 -0.4%(-0.07) …… 民営家賃(木造中住宅) -0.4%(0.00) など

参考1 財・サービス分類の前年同月比及び寄与度

	総 合	財							サービス				
		生 鮮 食 品 を 除 く 財	農 畜 産 物	水 産 物	工 製 品	業 品	う ち 耐 久 消 費 財	電 気 ・ 都 市 ガ ス ・ 水 道	出 版 物	公 共 サ ー ビ ス	一 般 サ ー ビ ス	う ち 外 食	う ち 民 営 家 賃
前 年 同 月 比 (%)	(0.6)	(0.0)	(1.0)	(5.6)	(1.6)	(5.2)	(2.7)	(0.3)	(1.1)	(3.2)	(0.4)	(0.1)	(0.5)
	0.2	1.2	0.2	9.6	0.7	4.9	3.1	0.3	0.8	2.2	0.3	0.1	0.6
寄 与 度	(0.6)	(0.00)	(0.45)	(0.41)	(0.57)	(0.23)	(0.13)	(0.01)	(0.55)	(0.41)	(0.15)	(0.01)	(0.01)
	0.2	0.59	0.09	0.68	0.25	0.22	0.15	0.01	0.41	0.28	0.11	0.01	0.02
寄 与 度 差	0.8	0.59	0.36	0.27	0.32	0.02	0.02	0.00	0.15	0.13	0.04	0.00	0.00

注) ()は、前月の前年同月比及び寄与度。各寄与度は、総合指数の前年同月比に対するものである。

参考2 前月比で上昇・下落幅の大きかった項目(中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前 月 比 (%)		中 分 類	前 月 比 (%)	
1	たばこ	38.6	1	生鮮魚介	3.7
2	他の諸雑費	7.5	2	穀類	1.1
3	生鮮野菜	3.5	3	生鮮果物	0.8
4	保健医療用品・器具	2.1	4	自動車等関係費	0.5
5	寝具類	1.3	5	油脂・調味料	0.4

参考3 前年同月比で上昇・下落幅の大きかった項目(中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前 年 同 月 比 (%)		中 分 類	前 年 同 月 比 (%)	
1	たばこ	38.6	1	教養娯楽用耐久財	19.3
2	生鮮野菜	29.4	2	授業料等	17.4
3	生鮮果物	24.0	3	家庭用耐久財	9.9
4	他の光熱	12.3	4	室内装備品	4.1
5	他の諸雑費	7.5	5	家事用消耗品	3.5

参考4 総合指数の前年同月比に対する寄与の大きかった項目(中分類)

上 昇				下 落			
中 分 類	寄 与 度	前 年 同 月 比 (%)		中 分 類	寄 与 度	前 年 同 月 比 (%)	
1	生鮮野菜	0.48	29.4	1	授業料等	0.49	17.4
2	たばこ	0.27	38.6	2	教養娯楽用耐久財	0.09	19.3
3	生鮮果物	0.23	24.0	2	家庭用耐久財	0.09	9.9
4	他の諸雑費	0.14	7.5	4	穀類	0.07	3.2
5	電気代	0.09	3.0	4	家賃	0.07	0.4

前年同月比が0.6%の下落から0.2%の上昇となったことに寄与した主な項目(中分類) 注1)

	前 月	今 月
生鮮野菜	10.7%(0.20)	29.4%(0.48)
たばこ	0.0%(0.00)	38.6%(0.27)
他の諸雑費	0.0%(0.00)	7.5%(0.14)

別掲 注1)

石油製品 注2)	4.0%(0.15)	4.0%(0.15)
エネルギー 注3)	3.7%(0.28)	4.0%(0.30)

注1) 数値は、前年同月比及び括弧内は寄与度。主要品目については19ページの追加参考資料を参照。

注2) 石油製品：プロパンガス、灯油、ガソリン

注3) エネルギー：電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油、ガソリン

< 追加参考資料 > 主要品目の前年同月比及び寄与度（エネルギー・耐久消費財など）

[総合指数の前年同月比の変動に寄与した項目]

- ・生鮮食品を除く総合の前年同月比の下落幅は0.5ポイント縮小。（9月 1.1% 10月 0.6%）
- ・生鮮食品を除く食料により総合の下落幅が0.04ポイント縮小。
- ・都市ガス代などの上昇幅が拡大。エネルギーにより総合の下落幅が0.02ポイント縮小。
- ・たばこにより総合の下落幅が0.27ポイント縮小。
- ・傷害保険料により総合の下落幅が0.14ポイント縮小。
- ・外国パック旅行により総合の下落幅が0.03ポイント縮小。
- ・航空運賃により総合の下落幅が0.02ポイント縮小。

表1 エネルギー構成品目の前年同月比及び寄与度

	万百分比 ウエイト	平成22年9月		平成22年10月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
エネルギー	740	3.7	0.28	-0.3	4.0	0.30	0.02
電気代	292	2.8	0.08	-0.1	3.0	0.09	0.01
都市ガス代	93	5.0	0.05	-0.1	6.8	0.06	0.02
石油製品	355	4.0	0.15	-0.4	4.0	0.15	0.00
プロパンガス	78	2.1	0.02	-0.1	1.8	0.02	0.00
灯油	53	13.3	0.08	-0.3	12.3	0.07	-0.01
ガソリン	224	2.3	0.05	-0.5	2.7	0.06	0.01

表2 耐久消費財の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万百分比 ウエイト	平成22年9月		平成22年10月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
家庭用耐久財	111	-10.1	-0.09	0.1	-9.9	-0.09	0.00
教養娯楽用耐久財	118	-20.0	-0.10	0.3	-19.3	-0.09	0.00
テレビ（薄型）	37	-33.9	-0.04	-3.1	-35.3	-0.04	0.00
パソコン（デスクトップ型）	13	-29.9	-0.01	-2.4	-35.0	-0.01	0.00
パソコン（ノート型）	21	-22.1	-0.01	0.9	-19.9	-0.01	0.00
カメラ	8	-37.1	-0.01	-2.6	-37.8	-0.01	0.00

表3 上記以外の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万百分比 ウエイト	平成22年9月		平成22年10月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
航空運賃	23	-8.4	-0.02	6.0	-0.4	0.00	0.02
高速自動車国道料金	32	-3.4	-0.01	0.0	-3.4	-0.01	0.00
移動電話通信料	208	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00
公立高校授業料	38	-98.5	-0.39	0.0	-98.5	-0.39	0.00
私立高校授業料	41	-25.1	-0.10	0.0	-25.1	-0.10	0.00
宿泊料	89	-1.9	-0.02	3.8	-0.8	-0.01	0.01
外国パック旅行	51	5.2	0.03	-8.2	11.9	0.06	0.03
たばこ	63	0.0	0.00	38.6	38.6	0.27	0.27
傷害保険料	118	0.0	0.00	11.8	11.8	0.14	0.14

注) 「私立高校授業料」の変動には、高校授業料無償化以外の授業料等の改定分も含む。

表4-1 食料の主な品目の前年同月比及び寄与度（前年同月比下位5品目）

	万百分比 ウエイト	平成22年9月		平成22年10月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
生鮮食品を除く食料	2174	-1.4	-0.32	-0.1	-1.3	-0.28	0.04
ビスケット	11	-9.7	-0.01	-0.5	-9.6	-0.01	0.00
スパゲッティ	3	-7.2	0.00	-2.4	-9.4	0.00	0.00
食用油	9	-9.9	-0.01	-0.8	-9.3	-0.01	0.00
たらこ	15	-7.1	-0.01	-1.1	-7.4	-0.01	0.00
ししゃも	4	-4.6	0.00	-1.6	-5.8	0.00	0.00

注) 主な品目は、生鮮食品及び外食を除く。なお、生鮮食品を除く食料は外食を含む。

表4-2 総合指数の前年同月比に対する食料の寄与度（魚介類、野菜・海藻、果物を除く）

	万百分比 ウエイト	平成22年9月		平成22年10月			
		前年同月比(%)	寄与度	前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	主な品目（前月比）
穀類	219	-2.7	-0.06	-3.2	-0.07	-1.1	国産米B(-2.8%) もち(-2.8%)
肉類	198	-1.6	-0.03	-1.1	-0.02	0.0	牛肉B(-1.7%) ハム(-0.8%)
乳卵類	109	-0.9	-0.01	-1.0	-0.01	0.1	鶏卵(1.7%) チーズ(1.7%)
油脂・調味料	101	-2.3	-0.02	-2.3	-0.02	-0.4	風味調味料(-2.9%) ふりかけ(-1.4%)
菓子類	217	-1.8	-0.04	-1.4	-0.03	0.2	せんべい(うるち米粉)(1.4%) ゼリー(1.2%)
調理食品	283	-1.2	-0.04	-1.0	-0.03	-0.1	調理パスタ(-2.0%) 調理カレー(-1.3%)
飲料	145	-1.9	-0.03	-1.7	-0.02	0.2	乳酸菌飲料A(2.0%) ミネラルウォーター(1.4%)
酒類	136	-1.3	-0.02	-1.4	-0.02	0.0	ぶどう酒(-0.8%) ビール風アルコール飲料(-0.6%)
外食	555	-0.1	-0.01	-0.1	-0.01	0.0	牛どん(1.4%) うどん(外食)(0.1%)

国産米B：精米，単一原料米（産地，品種及び産年が同一のもの），袋入り（5kg入り），コシヒカリを除く

牛肉B：輸入品，チルド(冷蔵)，肩ロース又はもも

乳酸菌飲料A：「カルピス，紙容器入り(500～600mL入り)」

図1 総合指数の動き

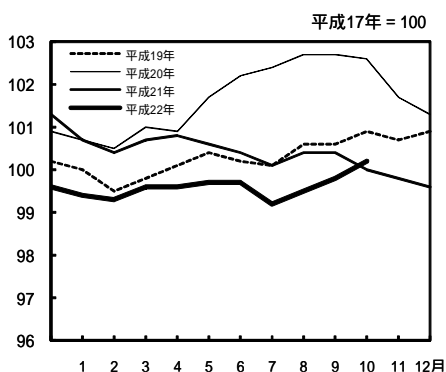


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

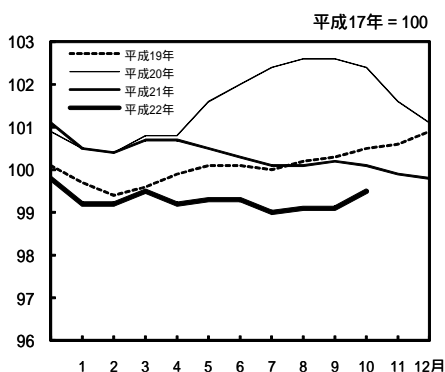


図3 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の動き

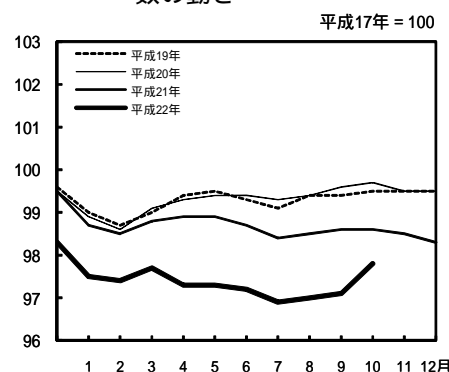


図4 電気代指数の動き

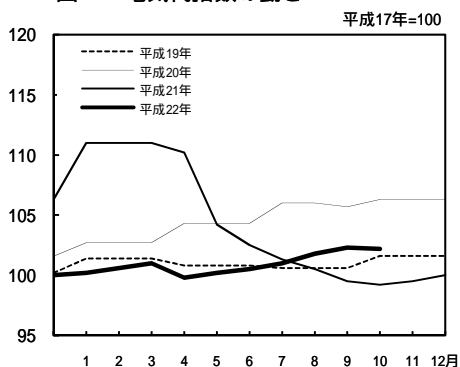


図5 ガソリン指数の動き

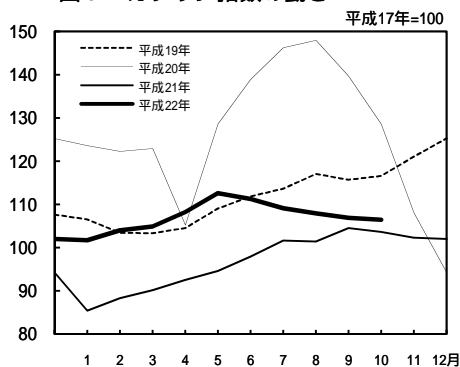


図6 生鮮食品を除く食料指数の動き

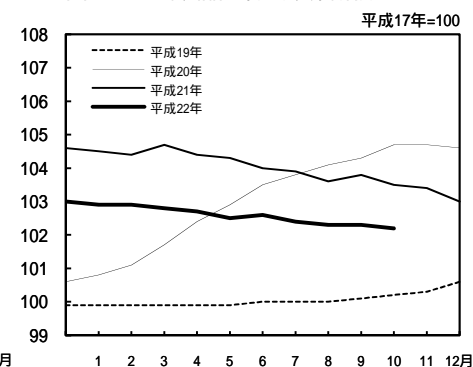
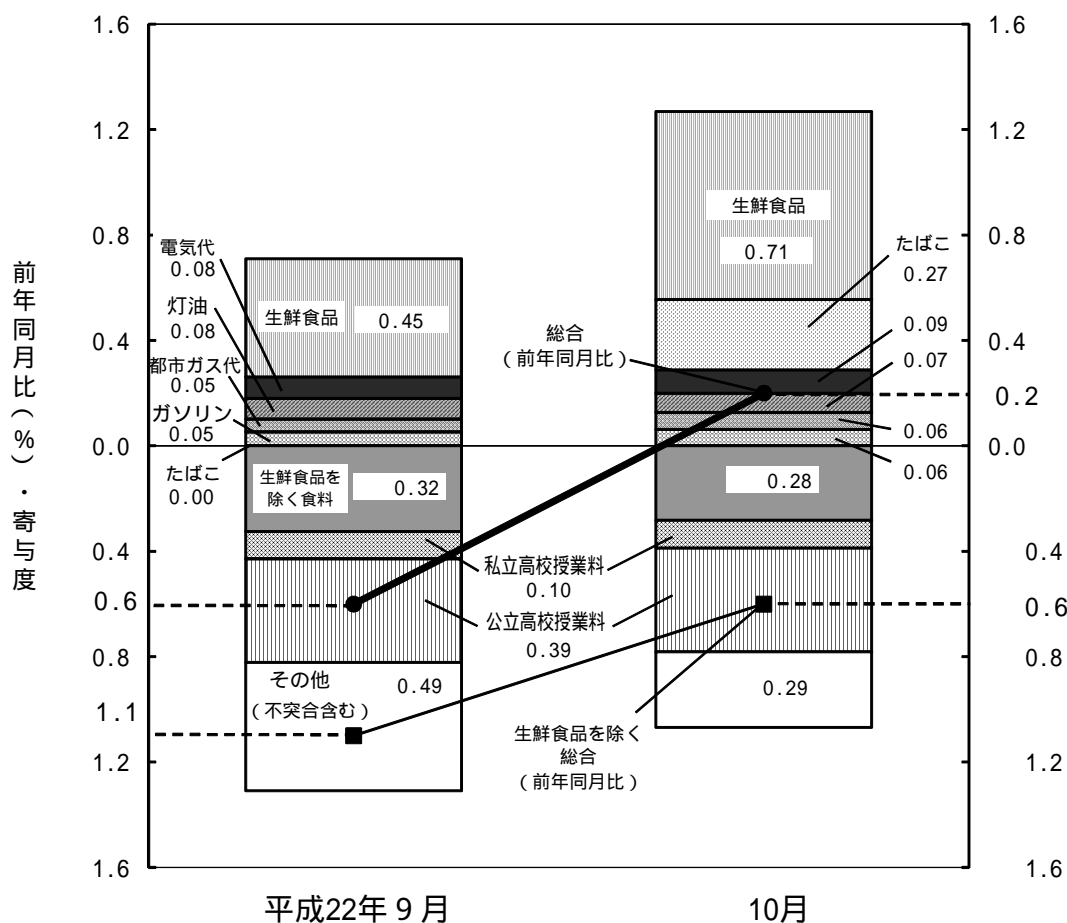


図7 総合指数の前年同月比に対する寄与度の変化



< 寄与度及び寄与度差について >

寄与度は総合指数の変化率に対してどの程度寄与したかを示したものである。

寄与度は実数ウェイトを使用し、次の計算式によって算出している。

$$\text{品目Aの寄与度} = \frac{\left(\frac{\text{当期の品目Aの指数} - \text{前期の品目Aの指数}}{\text{前期の総合指数}} \right) \times \frac{\text{品目Aのウェイト}}{\text{総合のウェイト}}}{1} \times 100$$

各品目の寄与度は小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで表章している。そのため、足し上げて上位類の寄与度とは必ずしも一致しない。

寄与度差は小数第4位まで持った寄与度により計算し、小数第3位を四捨五入して小数第2位まで表章している。そのため、当月と前月の寄与度を差し引いても寄与度差と一致しないことがある。